

“伝わる”とはどういうことか？

—教育現場におけるコミュニケーションの工夫—

目的：教育現場において単に「伝える」ことにとどまらず、「相手に伝わる」ことが重要とされています。とりわけ、TA として学生と接する場面においては、自らの言葉が本当に相手に伝わっているかどうかを意識することが大切です。今回の TA セミナーでは、「伝える」と「伝わる」との違いを改めて捉え直すとともに、教育者として必要とされるコミュニケーション上の工夫について、教育学習支援センターQTA・TF 資格を持つ学生スタッフと一緒に考えてみましょう！

日時：2025 年 7 月 10 日（木）16:30-17:30

場所：学生プラザ 1 階（東広島キャンパス）

対象者：教育と TA について興味のある方

開催言語：日本語

定員：30 名程度 ※先着順

プログラム

16 : 30	開会
16 : 30～16 : 40	講演：「伝わる」の必要性 鄭 伊然：統合生命科学研究科 食品生命科学プログラム (教育学習支援センター・学生スタッフ)
16 : 40～17 : 20	ワークショップ 「伝わらない」例とその分析 「伝わらない」ときの対応
17 : 20～17 : 30	まとめ・質疑応答・閉会

申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/K4XGgrD7zy>

申込締切：7 月 9 日（水）12:00 まで

問い合わせ先：教育学習支援センター capr@hiroshima-u.ac.jp